

# 「風の人」3号(通巻11号)THE MAN IN THE WIND

THE SUPPORTING NEWSPAPER FOR MR.SHIROSAKI

- 1 風の人 タク라마カン砂漠の風はどんな味がするのだろう
- 2 No3(通巻11号) '98. 2月号
- 3 98年2月15日発行 年間購読代千五百円
- 4 城崎さんと共に浮かぶ会・神奈川
- 5 郵便振替 00260・4・86033
- 6 東京都港区新橋2-8-16石田ビル4F 救援連絡センター
- 7 川崎市幸区古川町66 関 博明
- 8 大和市大和東3-3-7~201(0462-61-8450) 桧森孝雄

## 量刑公判が20日へ延期になりました

1月26日予定の判決日が2月13日に延期され、更に2月20日に延期されました(2月12日に複数から伝聞情報が入りました)。延期の正確な理由は分かっていませんが、城崎さんからの手紙(1月29日付、2月11日落手)に「今週こそPO[Probation Officer]面接かと思っていたのですが、どうも2月へと持ち越しのようですね。POを保護監察官と訳すみただけで、日本のそれとはちがって、POは判事の量刑考察にも影響するところから、ひょっとすると、2・13もまた延期となる可能性なきにしもあらず、という感じです」とあります。

陪審評決から量刑宣告まで3ヶ月以上もかかるのがどんな意味合いを持つのか、注視し続けたいと思っています。4つの起訴罪状で有罪となり厳しい量刑が予測されるのですが、ノーコメントを貫いている城崎さんに、出来るだけ多くの方々の励ましが伝わることを願っています。

## 1・25大阪の集い報告

今冬一番の寒さとなったのですが、9名の方々が集まってくれました。初めて会う方々とも突っ込んで話し合うことが出来ました。ネパールからの強制連行―デッチ上げ拘束に抗議し、無実―即時釈放をベースに取り組んできているのですが、裁判方針―体制となじんでいない状態で、参加の方々からは救援会、しっかりしろとお叱りをいただきました。話し合いを深めながら城崎さんからのシグナル待ちが続いています。

無実―即時釈放の試みがどんな関わりの中で展開するのか、集いでは少なくない示唆をいただきましたが、在日・在米の方々に知っていただく機会も少しずつ拡がっており、足元を確かめながら進んでいきたいと考えています。

## 3編掲載について

① 11・29東京の集いで話された喜田村さんの講演を文章にさせていただきました。問題の所在をトータルに考えさせるものです。

② 城崎さんのお母さん方が作成した上申書を掲載します。1月、タッカーさん→米国Pさん→日本Yさんで入った作成依頼に浮かぶ会が相談に乗りました。

(1) 情状酌量～上申書の意図―有効性が不明でしたが、ご家族が判断し対応する問題であり、ご家族の意向を尊重する。

(2) 作成された上申書は、米国・連邦地裁通訳によらず、喜田村さんに作成をお願いする。

(3) 提出の最終判断は、城崎さんによることを条件とする旨を添付し送付する。

主にこれら確認のもとになされました。喜田村さんの英訳文はすばらしい詩となっています。

③ 城崎さん—丸岡さんの往復書簡。城崎さんからは公開を前提として書いた部分があると示され丸岡さんからは差し出し文の公開も可との手紙をいただきました。

今回もYさんが渡米されています。もう3度目。体調を維持されることを願っています。

量刑ができるだけ短いものであることを願いながら、城崎さんとの自由まで、無実—即時釈放の試みを最後まで、ポチポチと。(浮かぶ会)